

# 登園開始届（保護者記入）

光明幼稚園

園長 福寿 亮賢 殿

クラス

園児名

上記園児は「病名 \_\_\_\_\_ 」と診断され、  
 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 「医療機関名 \_\_\_\_\_ 」において  
 病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保護者名 \_\_\_\_\_ 印

✂切り取り

## ◎医師の診断を受け、保護者が記入する登園開始届が必要な感染症

第2種	飛沫感染し流行拡大の恐れがある感染症	インフルエンザ	発症後 5 日、かつ、解熱後 2 日（幼児 3 日）が経過するまで	定められた期間出席停止  治癒により登園する場合には医師による許可証は必要としないが保護者捺印による「登園開始届」の提出  症状の寛解により登園する場合には医師より「登園許可証」の発行を受け、登園時に提出
		百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5 日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで	
		麻疹（はしか）	解熱した後 3 日を経過するまで	
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後 5 日間を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで	
		風しん	発疹が消失するまで	
		水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	
		咽頭結膜熱	主要症状が消失した後 2 日を経過するまで	
		結核	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで		
第3種	飛沫感染が主体ではないが、放置すれば流行拡大の可能性がある感染症	コレラ	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	定められた期間出席停止  治癒により登園する場合には医師による許可証は必要としないが保護者捺印による「登園開始届」の提出が必要  症状の寛解により登園する場合には医師より「登園許可証」の発行を受け、登園時に提出
		細菌性赤痢	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
		腸管出血性大腸菌感染症	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
		腸チフス	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
		パラチフス	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
		流行性角結膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
		急性出血性結膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	その他の感染症	溶連菌感染症	適正な抗菌剤治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可能	原則として急性期は出席停止とする。  治癒により登園する場合には医師による許可証は必要としないが保護者捺印による「登園開始届」の提出が必要  症状の寛解により登園する場合には医師より「登園許可証」の発行を受け、登園時に提出
		ウイルス性肝炎 A 型・E 型	肝機能正常化後は登校(園)可能	
		ウイルス性肝炎 B 型・C 型	急性期以外は登校(園)可能	
		手足口病	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校(園)可能	
		伝染性紅斑	発疹（リンゴ病）のみで全身状態が良ければ登校可能	
		ヘルパンギーナ	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可 手洗いの励行が必要。	
		マイコプラズマ感染症	全身状態が良ければ登校(園)可能	
		サルモネラ感染症(腸チフス・パラチフスを除く)	下痢が軽減すれば登校(園)可能 手洗いの励行が必要	
		感染性胃腸炎(流行性嘔吐下痢症)	下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能 手洗いの励行が必要	
帯状疱疹		被覆してあれば接触感染を防げるが、保育所・幼稚園では、免疫のない児が帯状疱疹患者に接触すると水痘に罹患しやすいため、感染者はすべての皮膚が痂皮化するまでは保育児と接触不可。		
	EBウイルス感染症	解熱し全身状態が回復した者は登校(園)可能		
	単純ヘルペス感染症	発熱・全身性の水疱がある場合は出席停止 口唇ヘルペス・歯肉口内炎のみである場合はマスク等をしたうえで登校(園)可能		
	急性細気管支炎(RSウイルス感染症等)	発熱、咳などの症状が安定し、全身状態のよい者は登校(園)可能だが、手洗いを励行する。		
	アタマジラミ	出席は可能(タオル、櫛、ブラシ等の共用は避ける)		
	伝染性軟属腫(水いぼ)	出席は可能(多発発疹者はプールでのビート板等の共用は避ける)		
	伝染性膿痂疹(とびひ)	出席は可能(プール、入浴等は避ける)		